

名残りつきない、果てしない思い出の(全日本女子)アルバム

**全日本女子
バレー大会を終えて**

成田 淎

大成功に終了いたしました。

町民各位、各団体の御協力のもと、準備万端なつて博しました秋田国体に優勝いたれた昭和三十八年度全日本九人制バレー部女たことは、参加各チーム、選手会中央役員の等しく認められました。昨年全国にその名声を病最高の天候に恵まれ、幾感激されたところでありましたが、この度は残して、昭和三十六年南米に開催の競技的なる縁故関係が深くあります。

裁判員、昭和三十七年、ソ連に開催のバレー世界選手権大会の日本代表団からも、奥町が紹介される機会も多々ありました。そこで、おもな御協力により史跡でない心温まる大会が開催出来た、との礼状が寄せられた。そのを離れて、大きな取扱いをして皆様と共に喜び、懇親であります。このことにならないところであります。又この度の大会はそのいろいろな形においてアラスすることも多くあります。

性格が、全日本総合スポーツすることも多くあります。

高校は勿論のこと実業人、一般社会人チームの大多数に、ここにあらためて、全町の御協力に、深甚の敬意と感謝を捧ぐる次第であります。

大会日程 八月一十八日～九月一日
場所 肴巣町運動公園ハレーコート



8月27日全町民挙ての歓待に選手団第一陣がやってきた



23日選手役員町民の合同盆踊り大会で思い出をつくったシーン



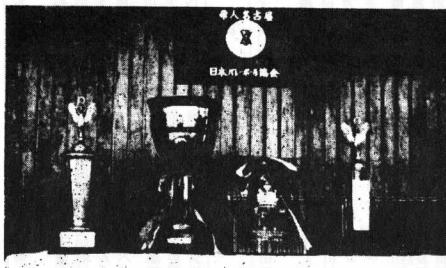
28日鳴子笛隊一行虧巣駅より出発大会の興奮を一層強めた



29日～9月1日熱戦に熱戦がくりかえされた

試合の合い間は婦人会のサービスでお茶を召上る選手たち

閉会式も花のトンネルに婦人会の見送りも又思い出となつた



5日間の熱戦の結果は遂に東邦レースに優勝カップが渡された



「合は別れの始めなり」思い出の数々を残して北と南に別れをおしみながら送られる人送る人のマタにはいつしかつい涙がホロリホロリ



発行所
(秋田県)
虧巣町役場 町長室
電話 (0185) 550番 直通42番
(発行部数 5,650部)
印刷 成文社印刷所

としよりの日
9月15日
社会を明くる
するため
としよりを敬いましょう
としよりをいたわりましよう
としよりを慰めましよう

